



ジャパンサーチ・タウン

で京阪奈を盛り上げる

アーバンデータチャレンジ京都2021

近年、書籍・文化財・メディア芸術など、さまざまな分野のデジタルアーカイブが生まれていますが、それらと連携し、データを横断的に検索できるのが「ジャパンサーチ」（2020年8月正式公開）です。このデータベースには京都・大阪・奈良に関するデータも豊富に含まれています。

今回の関西館ライブラリーカフェでは、ジャパンサーチを活用して地域活性化を目指す取り組みである「ジャパンサーチ・タウン」を実施します。当日は、参加者の皆さんとともに、京都・大阪・奈良にまつわるテーマを考え、ジャパンサーチや各種デジタルアーカイブを使用し、図書館資料やデジタル画像をキュレーションしていきます。その作業を通じて、地域の魅力の発見や教育・観光・歴史研究などにどのように活用できるのかを考えます。なお、当日検討したコンテンツは、「アーバンデータチャレンジ2021」に応募する作品の足掛かりとなることも目指します。

日時 2021年**8月28**日（土）10：00～17：00

プログラム

話題提供の部

- ・青木和人さん「ジャパンサーチ・タウンについて」（UDC京都事務局／Code for 山城 代表）
- ・国立国会図書館職員「ジャパンサーチ等各種DBの利用方法」

情報交換の部

- ・自己紹介、チーム編成の説明
- ・チーム編成
- ・Zoomのブレイクアウトルーム（グループ分け）機能にて、チームごとに分かれ、ジャパンサーチの共同編集機能であるワークスペースを使って、チームでコンテンツの検索、キュレーション作業

開催形態：オンライン

利用システム：ウェブ会議システムZoomによるオンライン配信

定員：30名程度

申込方法

下記の申込フォームにアクセスし、必要事項を記入してお申込みください

<https://udc-kyoto.connpass.com/event/219492>

ZOOMの接続環境（パソコン・スマートフォン・インターネット環境）はご自身でご準備ください。

アーバンデータチャレンジ(UDC)とは

地域課題解決を目的に、国や自治体の保有する様々なデータを効果的に活用するツール、有効なデータ活用方法を募集するコンテストです。東京大学空間情報科学研究センターと一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）が主催しています。

<https://urbandata-challenge.jp/>

